

八乙女だより

第
2
号

2026.9 発行



元学校長 松永 弦先生より



20年にわたり本校の看護教育に尽力され、今年3月をもって退任された松永弦前学校長。退任にあたり、これまでの歩みと看護教育への思い、そして卒業生への温かなメッセージをお寄せいただきました。

本年3月をもちまして仙台市医師会看護専門学校学校長を退任いたしました。平成18年4月から仙台市医師会附属高等看護学院の非常勤講師として専門基礎分野を担当し、20年間にわたり看護師育成にかかわれたことは貴重な経験であり、多くの卒業生とともに切磋琢磨してまいりました。当初は夜間の授業であったため昼に働いていた学生も多く、いかに興味深く授業を受けていただくか悩みも多かったと記憶しています。ラーメンの話も工夫の一つでした。平成22年から准看護学院副学校長を拝命し、平成23年からは授業も受けもちました。初めて副学院長として参加した運動会では、雨で田んぼのようになったグラウンド（現八乙女看護専門学校）で、泥だらけになりながらお互いに協力し競技に参加する生徒を応援し、看護教育にのめりこむきっかけの一つでした。

准看護学院と高等看護学院を統合し八乙女に移転する際、当時の山口准看副学校長と松浦高看副学校長、長野初代学校長と佐藤準備室長とともに一つの学校に統一するための方策につき、侃々諤々の議論をしたことを昨日のように思い出します。その後准看護学科の志望者減少をうけて、准看護学科と2年課程看護学科を閉科し3年課程に移行する案が医師会で決定されました。その事業を担うため学校長を拝命し、今年の3月に最初の卒業生を輩出することで職責を果たし、20年間の看護教育を卒業することといたしました。

准看護学科、2年課程看護学科それぞれに同窓会が組織されていましたが、3年課程に移行することを機に、伊藤ひとみ会長や関係各位のご尽力により「八乙女の会」として新同窓会を組織していただきました。同窓会は新しくなりますが、これまで准看護学科や2年課程看護学科の同窓生として在籍していただいたOG、OBにも新同窓会員としてご参加いただくことをお願いいたします。これまで看護教育に携わってきたなかでいくつか学生に伝えたいことを申し述べます。

1. 「人をみる観察力」を磨き続けてほしい。

看護とは単なる処置や手技の積み重ねではなく、患者さまの表情、声のトーン、歩き方、呼吸のリズムなどの小さな変化に気づくことが大切です。どんなに医療が進化してもAIにも代替できない、皆さんが持つ力です。

2. 「卒業後こそ学びの本番」

在学中の学びは基礎になりますが、卒業後の臨床の現場こそが学びの本番です。百人の患者様がいれば百とおりの治療が存在します。それを見抜く力を卒業後に身に着けます。

最初の3年間は寝る間も惜しんで学んでください。また治療の原則も時代とともに変化し、真実は一つではありません。医療は一生学ぶことが大切です。

日本においては少子高齢化が予想をはるかに超え、看護師需要はますます高まります。また少子化による労働力不足も顕著で、他業種では外国人の労働力導入も始まっています。

看護師としての誇りを持ち、医療人として社会貢献を続けていただけることを期待しています。医療の現場でまたお会いできることを楽しみにしています。



私のイチ推し / highly recommended

今号から、新連載「私のイチ推し」がスタートします。看護に関する愛用品から趣味、気分転換法まで、先生方の「イチ推し」をリレー形式でご紹介します。普段はなかなか知ることのできない先生方のお人柄や、意外な一面にも触れられる企画をお楽しみください。記念すべき第1回を飾るのは、新学校長の菊地徹先生です。

Profile



菊地 徹 先生 | 仙台市医師会看護専門学校学校長

『新古今和歌集』は、鎌倉時代初期、後鳥羽院の命によって編纂された八番目の勅撰集（天皇や上皇の命によって編まれる和歌集）です。



当代を代表する5人の歌人が、古今の名歌から選び抜いた歌を院へ提出します。院は、これら選りすぐりの歌を自ら校閲し精選しますが、三度清書させるうちにおよそ2000首におよぶ歌を尽く誦んじてしまったとのこと。主題に沿って歌を並べる作業も終わり、撰集事業の終了を記念して勅撰集でははじめての竟宴が催されました。その後も歌を差し替える作業が延々と続けられた末、10年の歳月をかけてようやく完成します。

歌の選定は、院自らのご意向によって行われました。『新古今集』が後鳥羽院による親撰と言われる由縁です。

◆ 次回予告 ◆
菊地先生からのボタンは、副学校長・松田美由紀先生へ。
今回の「私のイチ推し」もどうぞお楽しみに。

仙台市医師会看護専門学校同窓会【八乙女の会】主催「就活応援！就職ガイダンス」を開催しました。

令和7年 10月1日、2年生を対象に、クリニック勤務看護師、老健施設勤務看護、訪問看護師等、様々な分野で務める先輩看護師より、

- ・1日の流れや業務内容
- ・仕事のやりがい、大変さ
- ・働く上で大切にしていること
- ・学生へのメッセージ

等々、お話をさせていただきました。



同窓会では、卒業生が現場で培った経験や想いを後輩へ伝える「就活応援！就職ガイダンス」を開催しました。ガイダンス後には、学生から「就職先を考える参考になった」「先輩の話が聞けて安心した」「もっと早く話を聞きたかった」などの言葉が聞かれたり、様々な質問等もいただき、大きな反響がありました。学校側からは「ぜひ今後も続けてほしい」とのお声をいただくなど、大変好評なガイダンスとなりました。私たちの経験や言葉が励みになっていたとしたら嬉しいです。

「誰かの役に立ちたい。」
幼い頃に抱いたその想いを胸に、看護師として歩み続け、
仙台オープン病院の看護部長として多くの職員を導いてこられた
和知洋子様。学生時代の思い出や看護師人生の転機、そして今も大切に
されている信念について語っていただきました。
現役の学生や卒業生への温かなメッセージとともにお届けします。



公益財団法人 仙台医療センター
介護老人保険施設 茂庭台豊齡ホーム

看護介護師長 和知 洋子様

Q 学生時代はどのような学生でしたか？

A 高卒後2年間、「准看護学院」に在籍していました。
エンジ色の制服にピンクのブラウス、化粧は禁止で、今思えば「赤ほっぺ」の
垢抜けない学生でしたね。
東仙台の中嶋病院で働きながら通学し、約20名の先輩・後輩と共に過ごした
寮生活は、苦楽を分かち合った楽しい思い出です。
その後「高等看護学院」の夜学2年生まで同病院でお世話になり、3年目は退職して
実習のため学校に専念しました。
働きながら学ぶことは、今振り返ると非常に有意義でした。現場での経験が授業で
根拠として結びつき、納得したり腑に落ちたり、時には逆もありました。
また、社会人としての基礎力も先輩方から学ばせていただきました。
真面目だったかと問われると、夜勤明けの授業は「今日は寝る」と決めて
しまうこともあり、熱心に講義をしてくださった先生方には申し訳なかったと
反省しています。
卒業アルバムの写真は皆、疲れた表情でしたが、5年間よく頑張ったなと、
今では愛おしい日々です。

Q 長年看護師を続けてこられた秘訣をお聞かせください

A 幼少期、祖父が肝臓がんで入院しており、父とお見舞いに行った際、
看護師さんが生き生きと働き、祖父を支えている姿に感動しました。
5歳ながら、その時「誰かの役に立ち、寄り添う仕事で働きたい」と思い、
看護師を志しました。

長年続けてこられた秘訣は、看護の仕事が好きだからです。
この仕事は自分の適職だと感じています。患者さんやご家族を想い、看護を提供
した結果、良い方向に結びついた時の喜びは、何にも代えがたいものです。

Q 座右の銘や日頃大切にしていることは何ですか

A 特別な座右の銘はありませんが、「自分が嫌だと思ふことは人にしない」ことを
大切にしています。
また、人とのつながりが希薄になりつつある今、「コミュニケーション」は
相互理解を促し、組織づくりに欠かせないものだと考えています。
そのため、「承認すること」を常に意識してきました。まずは存在を認める
「存在承認」、次に「事実承認」「結果承認」へとつなげ、相手の自己肯定感を
高められるよう心がけてきました。

Q 看護において、特に大切にしていることは何ですか

A 「相手を慮り、尊厳を守り、その人らしく生きることを支援する」ことです。
看護部長としてビジョンを示し、現場のスタッフが実現に向けて
尽力してくださっていることに、日々感謝しています。

Q 現在の学生や若い看護師へのメッセージをお願いします

A 看護師は、誇りを持てる素晴らしい仕事です。「なりたい自分は自分次第」です。
最初はつらく感じることもありますが、職場に慣れ、仲間と相互理解が深まると
「自分の居場所」が見えてきます。その時、きっと自分らしい看護ができるように
なります。
数年後、皆さんが誇りを持って生き生きと働いている姿を思い描いています。

Welcome to OPEN CAMPUS !!

令和8年もオープンキャンパスを行なっています！
学生や先生になんでも質問ができます！
学校の雰囲気・魅力、授業風景など様々なことを
体験しに来てください！



同窓会では、オープンキャンパスで【八乙女の会ブース】を開催しました。
当日は、看護の現場について学生さんからの質問に直接お答えしたり、
授業内容や学生寮に関する質問には、学校の魅力もお伝えしながら
【事務局】や【先生ブース】へご案内するなど、充実した活動ができました。

【編集後記】

「八乙女だより」第2号をお届けいたします。
今号は、新学校長のご紹介をはじめ、新連載「私のイチ押し」
卒業生インタビュー、そして同窓会活動など、学校と同窓会の
“今”をお伝えできる内容となりました。
新しくスタートした【八乙女の会】は、卒業生の皆さまの思い
を学校へ、そして学校の思いを卒業生へつなぐ「架け橋」とな
れる同窓会を目指しています。学生の皆さんや母校の発展に少
しでも力になれるよう、役員一同これからも力を合わせて活動
してまいります。
次回の同窓会総会は、2027年6月5日（土）14:00より、
本校第1会議室にて開催予定です。
どなたでもご参加いただけますので、ぜひお気軽にお越しください。

